

2020 年度  
事業報告(案)  
(2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団  
理事長 住野 耕三

# 事業の状況

助成金の交付について

＜公益目的事業1＞

「提供者側・利用者側双方の視点からの在宅医療等に関する調査研究への助成」

( 67,757,204 円 : 94 件 )

一般公募(前期)「在宅医療研究への助成」(43件):28,187,140円

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	あんどう ゆかこ 安東 由佳子	在宅パーキンソン病患者の抑うつに対する非薬物的アプローチの検討 名古屋市立大学 看護学研究科 教授	9/10	750,000
2	いき さとえ 壹岐 聡恵	きょうだい児をもつ重症児の在宅移行期における主養育者の体験 筑波大学大学院 大学院生/看護師	9/10	300,000
3	いしい しゅん 石井 瞬	整形外科外来における地域在住フレイル患者の骨粗鬆症に対する他職種介入モデルの構築 道ノ尾みやた整形外科 リハビリテーション科 理学療法士	9/14	420,000
4	いしい ろうこ 石井 容子	在宅における IPOS の利用の実現可能性と非がん患者への IPOS の信頼性・妥当性の検証 自治医科大学 看護学部 助教 東北大学大学院 緩和ケア看護学 博士後期課程	9/10	730,000
5	いしざか はるな 石坂 晴奈	在宅認知症高齢者の排泄に関する生活障害と家族介護者によるケア 千葉大学大学院 看護学研究科 博士前期課程	9/10	282,600
6	いわさき ゆみ 岩佐 由美	在宅で療養するパーキンソン病患者を支えるための訪問看護ケア - 看護実践の可視化と課題の分析 - 森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 講師	9/10	493,800
7	おかもと たかつぐ 岡本 隆嗣	在宅高齢障害者の活動能力低下の要因分析および維持・向上に向けたリハビリテーションプログラムの開発 医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院 院長	9/10	300,000
8	かさい ゆみこ 笠井 由美子	NICU 退院児の母親へのピアサポートプログラムの効果 川崎市立看護短期大学 講師	9/10	1,080,000
9	かとう ようこ 加藤 洋子	在宅医療が必要な医療依存度が高い障害児と母親の生活の質を高める支援に関する調査研究 帝京大学医療科学部医療福祉学科 教授	9/10	1,448,000
10	かもし ゆいこ 加茂 唯子	入院前支援が、退院後 30 日以内の予定外再入院に及ぼす影響 : 診療録調査・後ろ向きコホート研究 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学教室 大学院生(修士課程2年)	9/10	860,000
11	くどう ともみ 工藤 智美	特別養護老人ホームで働く看護師の病院との連携行動の評価とその関連する要因 秋田大学大学院 医学研究科 保健学専攻 地域看護分野 大学院生	9/10	600,000

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
12	倉田 慶子 くらた けいこ	在宅で重度心身障害者と共に生きる母親の移行理論に基づいたアドバンス・ライフ・プランニング概念モデルの開発 東邦大学 看護学部 在宅看護学研究室 助教	9/10	1,419,200
13	小坂 真琴 こさか まこと	在宅医療を受けている患者の緊急時の対応、特に救急搬送に至る意思決定のプロセスと遠隔でのアセスメントについて 東京大学医学部 学生	9/10	638,000
14	小島 みさお こじま みさお	認知症要介護高齢者の排泄ケア関連用品の利用にみる排泄介護の実態 NPO 法人日本コンチネンス協会 理事	9/14	650,000
15	小松 知子 こまつ ともこ	小児在宅歯科医療における多職種連携ネットワークの構築 ーオンライン食育診療の導入ー 神奈川歯科大学 全身管理医歯学講座 講師	9/10	774,000
16	阪上 由美 さかがみ ゆみ	医療的ケア児を支援する医療・福祉・保健・教育の連携体制構築に関する調査研究 大阪信愛学院短期大学看護学科 準教授	9/10	187,600
17	笹元 慶仁 さきもと よしひと	鹿児島県大島郡瀬戸内町に訪問看護ステーションを開設した目的：離島へき地への訪問看護ステーション開設については、住み慣れた地域で人生の最期まで暮らし続ける事が出来るようにサポートする事。また、法人の理念でもある「何でも相談できる」そんな場所を作り提供できる事 社会福祉法人淳涌界 奄美訪問看護ステーションいもーれ 事務長	9/17	1,000,000
18	佐野 晃子 さの てるこ	食事療法を行う高齢糖尿病療養者を支える訪問看護実践 静岡県立大学看護学研究科 修士課程	9/10	180,000
19	霽石 英里 しづくいし えり	シニアの日常生活における活動能力とテクノロジー利用の関連 千葉大学大学院 看護学研究科 博士前期課程	9/10	340,350
20	島 佐也加 しま さやか	在宅終末期がん療養者ケアに携わる訪問看護師の多職種連携行動の実態と関連要因 岡山大学大学院 保健学研究科 助教(特別契約)	9/10	775,000
21	清水 民枝 しみず たみえ	A 県における「情報通信機器(ICT)を利用した死亡診断ガイドライン」策定後の、在宅看取りを希望する訪問看護利用者の最期に関する実態調査 公益社団法人新潟県看護協会訪問看護ステーションみつげ所長／看護師／主任介護支援専門員	9/10	75,380
22	鈴木 盛史 すずき せいじ	在宅療養患者に関する嚥下音長評価の考察・臨床研究 エース訪問看護ステーション新所沢 マネージャー／理学療法士	9/10	30,000
23	関野 明子 せきの あきこ	非常事態(COVID-19)発生時における別居介護者の心理的体験と支援ニーズ ー親の住まいに通えなくなった時に求められる支援のあり方ー 桜美林大学大学院 老年学研究科 博士後期課程	9/10	900,000
24	武田 智美 たけだ ともみ	ALS 療養者の療養者を支える看護連携の提案 ～病棟看護師と訪問看護師の人生最終段階に向けての療養者の思いの共有～ 椋山女学園大学 看護学部 助教	9/10	800,000

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
25	つるがや まきこ 鶴ヶ谷 理子	本人主体の ACP とするために必要な情報の収集・共有方法の研究 — 独居・非がんのケースを中心に — 株式会社やさしい手 看護師	9/14	800,000
26	なかお ゆか 中尾 有花	がんに罹患した認知症高齢者の治療の意思決定を可能にする医師・ 看護師の支援 千葉大学大学院 看護学研究科 大学院生	9/10	825,150
27	なかた みけい 中田 花契	非がん療養者への緩和ケア実践の阻害要因に関する訪問看護師を 対象とする量的横断研究 — がん療養者との比較 — 三重大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 広域看護学領域地 域看護学分野 博士前期課程	9/10	610,000
28	なかにし こうすけ 中西 康祐	主体的な日常生活が困難になった認知症高齢者の生活の質はどうす れば向上するのか— IADL 支援プロトコルを用いたケースシリーズ研究— 健康科学大学 健康科学部作業療法学科 作業療法士	9/10	514,000
29	はまたに まきこ 濱谷 雅子	訪問看護職が介護福祉士とより「よい」在宅ケアチームを築いていくプ ロセス 東京都立大学 客員教授	9/10	750,000
30	ひきまつ みさ子 久松 美佐子	島嶼部在住精神障がい者への精神科訪問看護師による在宅医療 推進のための看護実践の実態と方略 鹿児島大学 医学部保健学科 助教/大学教員	9/10	600,000
31	ひねの あきよ 日根野 晃代	ICT を用いた患者情報共有システムにおける複数参加型オンライン会 議機能を活用した在宅患者支援 信州大学医学部附属病院 難病診療センター 講師(特定雇用)	9/10	1,000,000
32	ひらしま けんいち 平島 賢一	在宅高齢者における電動車椅子・セニアカーの導入が活動性及び生 活空間の広がりを与える影響 徳島文理大学 保健福祉学部 理学療法学科 准教授	9/10	630,000
33	ひらやま えみこ 平山 恵美子	Covid-19 ウイルス感染予防に関連した介護施設入所者へのケア提供 における看護師の苦悩 藍野大学 医療保健学部 看護学科 教授/看護師	9/10	488,160
34	ふくだ ゆき子 福田 由紀子	訪問看護師の緊急ニーズ対応のためのアセスメント指標の有用性の 検証 人間環境大学 看護学研究科 博士後期課程	9/10	814,500
35	へんみ あけみ 片見 明美	高齢者が有する基礎疾患による看取りの過程の相違とその要因 (株)ヴィーナズ ナーシング・プレイス時の緑高根沢 医療統括マネージャー/緩和ケア認定看護師	9/10	496,000
36	まるやま けんた 丸山 健太	エンド・オブ・ライフケアにおける介護職の役割 医療法人社団支心 ふたば診療所 事務長	9/10	1,380,400
37	みやげ かずよ 三宅 一代	災害遭遇時に在宅重症児の生活適応を促進する支援に関する研究 公立大学法人兵庫県立大学 看護学研究科 博士後期課程	9/10	1,200,000
38	みやた やすよし 宮田 康好	在宅診療が感染症パンデミック時における進行がん患者の外來化学 療法に果たす役割の研究 長崎大学 泌尿器科/腎臓移植外科 准教授	9/10	620,000
39	むらかみ まなぶ 村上 学	シームレスな医学教育で在宅医志向の医学生を育成するためのキャリ アパスに関する探索的研究 北海道大学大学院 医学研究院 医学教育・国際交流推進センタ ー 助教	9/10	550,000

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
40	山本 理子	在宅医療における電話コミュニケーションに関する研究 丸木記念福祉メディカルセンター／HAPPINESS 館クリニック 医師	9/10	300,000
41	横山 直子	COVID-19 により在宅での生活を余儀なくされた通所サービス利用者の健康活動の変化の実態とそのプロセスに関する研究 立命館大学大学院 大学院生 / 姫路獨協大学 非常勤講師	9/10	400,000
42	吉見 明香	訪問看護における精神疾患に関する心理社会的介入プログラムの導入に関する研究 横浜市立大学 精神科 講師	9/10	275,000
43	渡邊 一久	在宅医療の観点からみた高齢患者の QOL 関連因子を探索する前向きコホート研究 名古屋大学大学院 医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 助教	9/10	900,000

一般公募(前期)「在宅医療研究への助成」43件 28,187,140円

一般公募(後期)「在宅医療研究への助成」(28件): 21,132,260円

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	天谷 尚子	地域包括ケアにおける在宅酸素事業者の多職種連携の現状についての調査研究 和洋女子大学・看護学部看護学科 助教	3/9	350,000
2	生田 花澄	限られた医療資源の中で、利用者の QOL を維持できる持続可能な訪問看護事業所の検討 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻看護実践開発科学講座老年看護学教室 博士前期課程1年	3/9	889,000
3	梅原 敏行	地方都市における精神科訪問看護の質向上に向けた教育プログラムの開発 訪問看護ステーションおあふ、代表/精神科認定看護師	3/9	1,438,220
4	大城 京子	オンラインで行う、介護支援専門員に対する、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)ファシリテーター教育プログラム(ACPiece)の有効性に関する研究 快護相談所 和び咲び 副所長/介護支援専門員	3/9	500,000
5	大橋 晃太	在宅輸血における ACTIVE TRANSPORT REFRIGERATOR の貸出を中心とした、「在宅輸血スタートセット」の提供による、適正な輸血実施体制の普及に関する研究 トータス往診クリニック/血液在宅ねっと 院長	3/9	1,330,000
6	小川 奈美	嚙下おでこ体操による、オトガイ舌骨筋の筋量及び輝度への効果の検証 坂上デンタルオフィス 歯科 歯科医師	3/30	330,000
7	加藤 勇人	在宅ケア専門職による精神障害者の家族の生活を大事にした支援の検討 名桜大学大学院看護学研究科 修士課程1年次	3/9	355,000
8	黒岩 卓夫	地域での美術館の多様な社会教育活動と、地域在宅ケア活動とのコラボレーション 医療法人社団 萌気会 理事長	3/9	1,300,000

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
9	くわの みかこ 桑野 美夏子	地域で活躍する訪問看護認定看護師の活動の中での思いや課題に関する研究 国際医療福祉大学 保健医療学部 看護学科 助教	3/9	285,000
10	しげなが あずさ 重永 あずさ	訪問看護師が直面する対応困難とは何か？～都市部と地方を比較して～ かめやす株式会社 ルピナス訪問看護ステーション 所長/看護師	3/9	500,000
11	しみず なおみ 清水 奈穂美	在宅医療の継続を支える慢性心不全をもつ後期高齢者の低栄養改善を目指した看護プログラムの開発 滋賀医科大学医学部看護学科 特任助教	3/9	700,000
12	たかはし ふさこ 高橋 芙沙子	高齢者向け住宅や施設の介護職が感じる「住まい移行期」にある認知症高齢者へのケア提供時の困難感と、施設特性および多職種からの支援体制との関連 関西医科大学 看護学部 助教	3/9	544,400
13	なかね あやこ 中根 綾子	在宅療養患者の摂食嚥下リハビリテーションが孤立や治療アドヒアランスに及ぼす影響について 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 歯科医師	3/9	1,000,000
14	はやし めぐみ 林 恵	未就学の医療的ケア児の通所利用の開始における訪問看護実践 群馬パース大学 保健科学部看護学科 助手	3/9	227,640
15	ふじい かしこ 藤井 かし子	虚弱高齢者向け運動機能と精神保健の維持・向上を目指した音付き絵本健康プログラムの開発とその効果 - 福島県避難指示区域の高齢者を対象として - 名古屋大学大学院医学系研究科 助教	3/9	1,824,600
16	ふじた だいすけ 藤田 大輔	通いの場における介護予防の効果に関する研究 福岡国際医療福祉大学 医療学部 理学療法学科 講師	3/9	559,000
17	まつもと むねのり 松本 宗賢	在宅重症児養育者の主観的 well-being 尺度開発とその信頼性および妥当性の検証 東京純心大学 専任講師/教員	3/9	652,600
18	みずかみ みき 水上 美樹	歯科衛生士の医療的ケア児(在宅)に対する訪問歯科診療の実態調査 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 歯科衛生士	3/9	1,250,000
19	みやざき つたこ 宮崎 つた子	医療的ケアを必要とする在宅養育児の母親の医療的ケアに費やす時間に関する研究 三重県立看護大学 教授	3/9	1,000,000
20	みやた かよこ 宮田 佳代子	コロナ禍におけるがん患者の在宅医療とアドバンスケアプランニングの実態調査 国立がん研究センター中央病院 地域医療連携部 がん専門相談員	3/9	1,220,000
21	みるまち としろう 美留町 利朗	共に暮らし合い、学び合い、支え合う健康福祉と防災のまちづくりに関わる調査研究 - 住民全体の地域包括ケアシステム構築を目指して - 元真如堂町健康福祉と防災のまちづくりを考える会 代表(医業経営コンサルタント)	3/9	1,255,000
22		フレイルを有する循環器疾患患者の在宅医療推進に向けた探索的研究	3/9	408,800

	もりさわ としゆき 森沢 知之	順天堂大学保健医療学部 准教授		
--	--------------------	-----------------	--	--

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
23	もりした しんいちろう 森下 慎一郎	地域在住乳がんサバイバーのリンパ浮腫軽減と健康関連 QOL の調査	3/9	810,000
		新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 理学療法士・准教授		
24	もりもと のりこ 森本 典子	ALS のセルフヘルプグループと支援者との協働による地域志向活動の 評価尺度の開発	3/9	550,000
		日本 ALS 協会長崎県支部 事務局長		
25	やまだ ようすけ 山田 洋介	Advance care planning の進展度の評価ツールの開発	3/9	850,000
		名古屋大学医学部附属病院老年内科 医師		
26	やまね かよこ 山根 香代子	在留外国人高齢者の在宅療養と在宅看取りに向けた訪問看護師の 役割	3/9	480,000
		訪問看護ステーションはれ 所長		
27	ゆざわ まさみ 湯澤 まさみ	要軽度介護者への退院支援・訪問看護に関する支援の探索 －看護職の在宅療養生活支援による介護予防可視化への取り組み	3/9	233,400
		静岡県立大学看護学部 客員共同研究員		
28	よしがわ こうへい 吉澤 康平	在宅脳卒中患者に対する新たな転倒予測評価の検討	3/9	289,600
		浜松市リハビリテーション病院 理学療法士		

一般公募(後期)「在宅医療研究への助成」28件 : 21,132,260 円

一般公募「在宅医療研究への助成」(論文枠) 6件 : 4,640,414 円(2020 年度助成)

論文枠 2 年助成で 2020 年度初年度助成と 2020 年～2021 年度(2 年総金額)

(単位: 円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	かきうち やすひろ 垣内 康宏	大阪府及び神奈川県における在宅死亡割合と在宅医療に関する医 療社会的指標の地域相関分析	9/10	500,000 (1,000,000)
		近畿大学 医学部 法医学教室 准教授		
2	しのほら ますみ 篠原 真純	在宅療養する高齢者へ訪問看護師が行うアドバンス・ケア・プランニ ングが家族の安心感に与える影響: 混合研究	9/10	853,414 (953,414)
		東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学専攻 大学院生(修士)		
3	しまやま りょう 下山 遼	在宅医療を受ける終末期がん患者本人への End-of-life care discus sion (終末期の話し合い)実施に関する観察研究	9/25	507,000 (1,447,000)
		わたクリニック/国立がん研究センター中央病院 医師		
4	なかの ひてき 中野 英樹	地域在住フレイル高齢者における身体・精神心理機能の関連性解明	9/14	800,000 (1,850,000)
		京都橘大学 健康科学部 准教授		
5	まつしげ たくや 松繁 拓哉	VSSED(終末期における自発的飲食中止: voluntary stopping eating and drinking)の倫理的課題に関する研究	9/25	300,000 (740,000)
		国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究 主任研修官/厚 生労働技官		
6	やまもと ゆうこ 山本 由子	在宅療養者と多職種の視点を活かした我が国の在宅療養における QOL(Quality of Life)に関するパイロット研究	9/10	1,680,000 (3,610,000)
		東京医療保健大学 准教授		

一般公募「在宅医療研究への助成」(論文枠)6件 : 2020 年度 4,640,414 円

(2 年間総額 9,600,414 円)



指定公募「課題解決型実証研究(論文枠)」 3件:8,815,900円

① 社会的処方による在宅医療連携協会の有効性に関する研究

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	吉江 悟 よしえ さとる	地域包括ケア・地域共生社会に対応したリンクワーカー養成の施行と評価 般財団法人オレンジクロス 研究員	9/14	4,000,000

② 在宅見取りを念頭においた在宅医療人材育成の有効性に関する研究

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	吉澤 明孝 よしざわ あきたか	在宅見取りを念頭においた在宅医療育成の有効性に関する研究 要町病院 要町クリニック 院長	9/17	4,000,000

③ 人生の最終段階における食支援の在り方に関する研究

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	熊谷 琴美 くまがや ことみ	管理栄養士による在宅療養の終末期がん患者への食支援の役割についての検証 医療法人正翔会 正翔会クリニック 管理栄養士 / 名古屋学芸大学大学院 大学院生	9/14	815,900

指定公募「課題解決型実証研究(論文枠)」 3件:8,815,900円

指定公募「在宅医療における感染症対策に関する調査研究」 6件 : 4,090,530円

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	塩田 芳享 しおだ よしたか	コロナ禍で、高齢者の医療に対する関わり方や意識がどのように変わったかを実態調査し、『With コロナ時代』の高齢者医療・在宅医療は変化を見据えながら、本格的に超高齢社会に突入するこれからの日本にとっての『理想の高齢者医療・在宅医療』とは何かを検証していく 有限会社フォーユー 医療ジャーナリスト	3/9	600,000
2	高山 望 たかやま のぞみ	日中活動サービス系事業所における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が障がい者の健康に与えた影響 北海道大学大学院保健科学研究院 客員研究員	3/9	490,000
3	田中 瞳 たなか ひとみ	新型コロナウイルス感染拡大による小規模居宅支援事業所が抱える高齢者支援への困難状況の実態調査 横浜市立大学大学院医学研究科 客員研究員	3/9	930,530
4	長岡 健太郎 ながおか けんたろう	新型コロナウイルス感染症流行下の在宅医療における感染症診療・感染症対策に関する調査研究 札幌在宅クリニック そよ風 医師	3/9	600,000
5	山家 智之 やんべ ともゆき	Covid-19が撲滅できない在宅医療環境でも、発症を見守り、肺炎を予防する、優しい見守りシステム 東北大学加齢医学研究所 教授	3/9	300,000
6	湯本 晶代 ゆもと あきよ	新型コロナウイルス感染症拡大が在宅高齢者の社会参加に及ぼした影響と今後の展望 千葉大学大学院看護学研究科 助教	3/0	1,170,000

指定公募「在宅医療における感染症対策に関する調査研究」 6件 : 4,090,530円

研究成果物評価委員会(勇美賞8件)

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	共通経費 配賦前事業費
2021年1月25日に研究成果物評価委員会(候補選抜は、日本在宅医療連合学会に委託)を開催し、2018年度一般公募の優秀な成果物の助成対象者として、下記の8名に勇美賞を贈呈した。			890,960
1	いいた みつえ 飯田 苗恵	群馬県立県民健康科学大学看護学部 地域健康看護学教育研究分野 准教授 三次医療圏における在宅医療の安全対策への取組および人工呼吸器装着者の事故発生状況の実態調査	
2	さえぐさ ともひろ 三枝 智宏	浜松市国民健康保険佐久間病院 院長 在宅療養者の災害時避難行動支援計画を多職種と地域が協働して作成する体制の構築	
3	しまむら やえこ 島村 八重子	全国マイケアプラン・ネットワーク 代表 ケアプラン自己作成が在宅医療、地域包括ケアに及ぼす可能性についての調査研究	
4	たけ こうき 武 昂樹	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 訪問看護ステーション高丘 理学療法士 在宅要介護高齢者の睡眠と座位行動の関連	
5	なかやま あつこ 中山 敦子	東京大学医学部付属病院 循環器内科 助教 慢性心不全患者における在宅心リハプログラム作成と普及	
6	のはら かんじ 野原 幹司	大阪大学大学院 歯学研究科 准教授 在宅嚥下障害患者の服薬状況の調査—歯科から見たポリファーマシー対策	
7	みずかわ あえ 水川 知恵	一般社団法人 Kukurū 看護師 小児在宅療養における入浴サービスの実態と支援のあり方—訪問入浴介護の試験的導入—	
8	ふなつ はじめ 船津 元	日本社会事業大学大学院 後期博士課程研究員 高齢者が「住み慣れた地域、我が家で暮らし続ける」為の医療職の役割と介入活動の成果～公営団地での医療職による「出張暮らしの保健室」介入プログラムの評価～	

「研究成果物評価委員会」8件 890,960円

＜公益目的事業2＞

「在宅医療等に関する人材養成のための研修及びセミナーなどへの事業への助成」

( 28,487,438 円 : 52 件 )

指定公募(前期)「市民の集い開催への助成」11件 : 3,100,000 円

(単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	あずま ともよ 東 朋代	人生会議(ACP)の啓発にアートを取り入れる方法 耳原総合病院 品質管理部 看護師 天野敬子	大阪府	11/6	300,000
2	いけや けい 池谷 啓	それぞれの見守り、看とり、平穏死 特定非営利法人楽舎 理事長	静岡県	11/6	300,000
3	いちばし まさこ 市橋 正子	緊急事態宣言下におけるオンライン保健室について …安心して最期まで家で暮らす地域を作る… MEIN HAUS 所長	兵庫県	9/10	300,000
4	おがわ てつや 小川 哲也	どうすれば在宅で尊厳死を迎えられるでしょうか？ 特定非営利活動法人ほのぼのステーション 理事長	大阪府	9/10	100,000
5	ごとう あきのぶ 後藤 章暢	これからの看取りについて考える会 公益財団法人神戸国際医療交流財団 代表理事	兵庫県	9/17	300,000
6	さいとう たけお 斎藤 忠雄	暮らしを支える在宅医療 斎藤内科クリニック 院長	新潟県	9/10	300,000
7	しばもと みさよ 柴本 美佐代	家族介護の ACP 想定外の最後に備える」～web とり アルの参加者が方ある未だからこそこの看取り～ 一般社団法人日本エルダーライフ協会 代表理事	大阪府	9/10	300,000
8	たなか ひでよ 田中 秀世	シンポジウム「しあわせな人生の過ごし方 in 富士見」 ～在宅医療人生会議 納得の暮らし方～ 鶴ヶ島市富士見地区地域支え合い協議会 会長/歯科医師	埼玉県	9/10	300,000
9	たまつ みな 保 美菜	「地域で話そう人生会議」～紙芝居で見る人生会議とは～ 任意団体 ほうらい まるごとケアの家 看護師	福島県	9/10	300,000
10	ふくべ せつこ 福辺 節子	在宅・施設ケアにおいて、最も大切なこと 一般社団法人白新会 Natural being 代表理事	大阪府	9/15	300,000
11	やたがい しげお 谷田貝 茂雄	多職種で在宅医療を支える やたがいクリニック 院長	東京都	9/10	300,000

指定公募(前期)「市民の集い開催への助成」11件 3,100,000 円

指定公募(後期)「市民の集い開催への助成」8件：2,400,000円

(単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・地区	地区	日付	助成金額
1	あかし のぞみ 明石 のぞみ	今こそ知りたい、在宅医療 ～事前の準備から最期の時まで～ 社会医療法人河北医療財団 多摩事業部 副理事長/医師	東京都	3/9	300,000
2	あきみ ひろし 浅見 洋	日本エンドオブライフケア学会・市民委員会セミナー「言葉を 知る:アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)」 石川県立看護大学 名誉教授	石川県	3/9	300,000
3	うざわ りゅういち 鵜澤 龍一	在宅での介護と看取り 公益社団法人船橋地域・福祉・介護医療推進機構 代表理事	千葉県	3/9	300,000
4	せきぐち みく 関口 未来	地域まるごと！栄養で元気になるう 新宿食支援研究会 認定栄養ケアステーション 責任者:管理栄養士	東京都	3/9	300,000
5	たかむら よしみ 高村 好実	映画「ケアニン2」上映会 在宅看取りを行った家族、 医療職によるシンポジウム 市立宇和島病院 臨床検査技師	愛媛県	3/9	300,000
6	はすお くみ 蓮尾 久美	病気になっても、住み慣れたこの地域で暮らすために 病院とかかりつけ医の上手なつきあい方 一般社団法人らふ 代表理事	大阪府	3/9	300,000
7	はっとり まきこ 服部 満生子	「地域で暮らし続ける」ことを考えてみよう ～意思決定とケアについて～ みんなの保健室 陽だまり 代表・看護師	埼玉県	3/9	300,000
8	ほしかわ えりか 星川 絵里佳	在宅看取りを語る会 ～それぞれが望む最期を迎えるために～ クローバーホスピタル 在宅診療部 看護師	神奈川県	3/9	300,000

指定公募(後期)「市民の集い開催への助成」8件 2,400,000円

指定公募(前期)「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成」7件 3,195,000円 (単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・地区	地区	日付	助成金額
1	岡田 将	千葉心不全ネットワーク研修会議 千葉大学医学部附属病院 循環器内科 助教	千葉県	9/10	500,000
2	後藤 章暢	『地域包括ケアシステム』構築における医療と他職種の連携を考える会 公益財団法人 神戸国際医療交流財団	兵庫県	9/17	350,000
3	平川 久美	豊能地域(豊能郡)における、多職種連携研究会 株式会社さわやか豊能訪問看護ステーション 代表取締役、管理者/看護師	大阪府	9/10	395,000
4	藤田 貴子	江津市の医・福・地連携によるビジョンづくりとチームワーク醸成研究会 特定非営利活動法人てごねっと石見 代表理事	島根県	9/10	500,000
5	前野 尚子	住み慣れた場所に「ただいま」と帰ってこれる呉を創ろう！ 呉ただいまを叶えるネットワーク研修会・交流会 呉ただいまを叶えるネットワークサポーターズ 代表	広島県	9/10	450,000
6	宮脇 誠	誤嚥性肺炎にならない・させない！！ための多職種連携に関する研修会 特定非営利活動法人多摩胃ろう・摂食えん下ネットワーク 理事長	東京都	9/14	500,000
7	谷田貝 茂雄	在宅医療推進のための多職種連携研究会 ～これからの地域包括ケアシステムを考える～ 医療法人社団雄昂会 やたがいクリニック 院長/医師	東京都	9/10	500,000

指定公募「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成」(前期) 7件 3,195,000円

指定公募(後期)「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成」10件 4,460,801円 (単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	大橋 晃太	在宅輸血連携研修会(多職種連携による適正な在宅輸血実施の手順について) トータス往診クリニック/血液在宅ねっと 院長/理事長	東京都	3/9	490,400
2	金山 和広	①患者の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会 ②地域住民及び医療・介護関係者のためのACP(アドバンス・ケア・プランニング)シンポジウム(仮称) 一般社団法人 東名古屋医師会(医療介護総合研究センター) 会長(センター長)	愛知県	3/9	500,000
3	末藤 久和	「ずっと自宅、ときどき入院」 ～連携シートの深化と拡充～ 医療法人社団 藤栄会 理事長	熊本県	3/9	500,000
4	鈴木 勇三	プレホスピタル ACP の支援者育成プロジェクト 病院発信の ACP の限界 病院に来る前から当たり前話し合える環境を クローバーホスピタル 病院長	神奈川県	3/9	500,000
5	時岡 奈穂子	南河内食のネットワーク 特定非営利活動法人はみんぐ南河内 副理事長	大阪府	3/9	480,000

No.	氏名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
6	とりき やすはる 徳力 康治	医療的ケアを必要とする障害児とその家族を支援する多 職種連携ネットワーク研修会および講演会	三重県	3/9	498,000
		みえ医療福祉生協訪問看護ステーションいくわ 介護プロ ック長兼理学療法士			
7	にん ひろし 任 博	多職種連携セミナー	東京都	3/9	500,000
		文京根津クリニック 院長			
8	はすお くみ 蓮尾 久美	互いの声を聞きあう、多職種交流研修会「地域住民が住 み慣れた自宅で過ごすために私たちができること」	大阪府	3/9	500,000
		一般社団法人らぶ、代表理事			
9	ほりかわ めぐみ 堀川 恵	ICTを活用した在宅医療介護連携	青森県	3/9	142,401
		弘前市第一地域包括支援センター センター長			
10	やまにし ゆき 山西 友規	地域でくらすための“たべることセミナー”	広島県	3/9	350,000
		くらし看護専門家 けのひ 看護師			

指定公募(後期)「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成」10件 4,460,801円

指定公募「在宅医療推進に寄与するモデル的な研修・セミナーへの助成」3件 :6,221,800円 (単位:円)

No.	団体名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	HAICS 研究会 (大久保 和夫)	在宅ケアの感染予防研修会の開発、企画と試行 (新型コロナウイルス感染症の再来にそなえる。)	東京都	9/10	924,800
		大久保 和夫(特定非営利活動法人 HAICS 研究会 副理事長)			
2	難病の子どもと その家族へ夢を (柴田 玲子)	医療的ケア児を支える為の動向体験型モデル研修の 開発	東京都	9/10	720,000
		柴田 礼子(公益社団法人難病の子どもとその家族へ 夢を 理事)			
3	放送大学 (田城 孝雄)	在宅医療・地域包括ケアシステム推進のための人材 育成研修	千葉県	9/23	4,577,000
		田城 孝雄(放送大学・教養学部 教授)			

指定公募「在宅医療推進に寄与するモデル的な研修・セミナーへの助成」3件 :6,221,800円

指定公募(前期)「在宅医療推進のための学会等への共催」2件 868,200円 (単位:円)

No.	学会名	開催テーマ・所属	共催	日付	助成金額
1	健康生きがい学会	健康生きがい学会 第11回大会「健康生きがいに満ちた”新しい暮らし方” ～コロナ時代を迎えて～」(仮)	全体	9/10	388,200
		松山 博光(大妻女子大学 教授)			
2	日本慢性看護学会	第15回日本慢性看護学会学術集会 豊かな人生をつむぐ慢性看護	全体	9/17	480,000
		古賀 明美(佐賀大学 医学部看護学科 学科長/教 授)			

指定公募「在宅医療推進のための学会等への共催」(前期)2件 868,200円

指定公募(後期)「在宅医療推進のための学会等への共催」8件 6,600,000円

(単位:円)

No.	学会名	開催テーマ・所属	共催	日付	助成金額
1	日本在宅医療連合学会 地域フォーラム	日本在宅医療連合学会 第3回地域フォーラム 市原 利晃 秋田往診クリニック 理事長・医師	全体	3/9	500,000
2	日本地域看護学会	日本地域看護学会 第24回学術集会「共生社会 における新たな地域看護の挑戦」 岸 恵美子 東邦大学大学院看護学研究科 教授	全体	3/9	800,000
3	日本難病看護学会	第26回日本難病看護学会学術集会における下記の シンポジウム・公開講座 ・シンポジウム:小児在宅医療児へのケア ・市民公開講座:苦境のときを生き抜くためには -希望のクラスターを生み出そう- 柘中 智恵子 熊本大学大学院生命科学研究部 准教授	一部	3/9	500,000
4	日本死の臨床研究会 関東甲信越支部大会	0歳から百歳を越えて、いのちに向き合う 高橋 昭彦 ひばりクリニック 院長/医師	全体	3/9	300,000
5	日本ホスピス・在宅ケア 研究会	第28回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in 熊本 高橋 恵子 有限会社せせらぎ 代表取締役	全体	3/9	1,000,000
6	日本在宅ケア学会	第26回日本在宅ケア学会学術集会 メインテーマ:地域社会が協働で織りなすコミュニティ ケア 中谷 久恵 広島大学大学院医系科学研究科 教授	全体	3/9	1,000,000
7	日本在宅薬学会	第14回日本在宅薬学会学術大会 患者に寄り添 う『在宅薬学』 ～デジタル時代だからこそ活躍する薬剤師の力～ 狭間 研至 一般社団法人日本在宅薬学会 理事長	全体	3/9	500,000
8	日本在宅医療 連合学会	第3回日本在宅医療連合学会大会 山中 崇 東京大学 大学院医学系研究科 在宅医療学講座 特任准教授/医師	全体	3/9	2,000,000

指定公募(後期)「在宅医療推進のための学会等への共催」8件 6,600,000円

指定公募「在宅医療における感染症対策の教育および啓蒙等への助成」3件：1,641,637円（単位：円）

No.	氏名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	うつみ 桃絵 内海 桃絵	地域包括ケアを基盤とした感染対策ネットワークの構築 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 准教授	大阪府	3/9	600,000
2	てらさわ みちえ 寺澤 道恵	新型コロナウイルス感染を正しく理解して、正しく感染予防し よう グループホームこもればの家 施設長	北海道	3/9	541,637
3	とくなが まさよし 徳永 正義	専門職と地域住民が共に学び理解しあえる地域を目指す ～コロナピンチをチャンスに変える～ 社会福祉法人 山陵会 理事長・医師	鹿児島県	3/9	500,000

指定公募「在宅医療における感染症対策の教育および啓蒙等への助成」3件：1,641,637円



＜公益目的事業3＞

テキスト等、在宅医療等に関する情報収集及び普及啓発事業の実施

(44,808,105 円 : 7 件)

自主事業 (7 件)

(単位:円)

No.	事業内容	共通経費 配賦前事業費
1	<p>第 16 回在宅医療推進フォーラム</p> <p>目 的 : 在宅医療にかかわる諸団体が一同に会し、これからの在宅医療の将来を考える場として、11 月 23 日(祝)に第 16 回在宅医療推進フォーラムを開催した。</p> <p>開催日時 : 2020 年 11 月 23 日(月・祝)13:00~17:05(開場 12:00)</p> <p>開催場所 : 東京ビッグサイト 会議棟 7 階 国際会議場</p> <p>共同主催 : 国立長寿医療研究センター</p> <p>参加申込 : 会場開催 および YouTubeライブ配信</p>	18,278,490
2	<p>在宅医療推進のための全国 11 ブロックフォーラム</p> <p>協力: 全国在宅療養支援診療所連絡会、訪問看護ステーション協議会</p> <p>目 的 : 一般社団法人全国在宅療養支援診療所連絡会の 11 ブロック(北海道、東北、北関東、東京、首都圏、甲信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州)において、各県にある訪問看護ステーション連絡協議会等と極力協働し、医師・看護師・その他の多職種の教育・研修ネットワーク作り、市民啓発に対する事業を行なった。各ブロック 150 万円を限度として助成してきた。</p> <p><b>2020 年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や大規模イベントの中止要請もあり、11 ブロック会議は各エリア判断にて中止となった。</b></p>	中止
3	<p>「令和 2 年度在宅医療関連講師人材養成事業 (高齢者を対象とした在宅医療分野)研修会」</p> <p>目 的 : 都道府県医師会よりご推薦された先生方等を中心に、地域の医師会に所属する先生方を受講対象者とし、それぞれの地域において在宅医療に関する進捗状況を踏まえ、推進活動をするためのリーダー役や様々な研修会の講師役等を担える医師を養成することを目的とする。</p> <p>受講対象: 地区医師会に所属する医師 42 都道府県 195 名</p> <p>企画委員会 6 月~10 月小委員会 5 回、委員会 2 回開催。</p> <p>開催方式: 事前学習と ZOOM を活用したワークショップにて開催。</p> <p>① 事前学習(動画 8 本視聴) ※10 月 19 日(月)~11 月 1 日(日)</p> <p>② Zoom を活用したグループワーク ※11 月 1 日(日)13:00~16:30(予定)</p> <p>助成金 : 2020 年度総事業費 8,459,655 円のうち、入札額 7,700,000 円を厚生労働省に請求し、2021 年度に入金予定。</p>	<p>(総費用) 8,459,655 (厚労省) 7,700,000 (財団) 759,655</p>
4	<p>(啓発事業として)ゆうみカレンダー (2021 年版) 作成</p> <p>利用者及び看護・介護士の皆様から 再作成の要望が高いため、2021 年版を作成し、配布。</p>	9,429,231
5	<p>(啓発事業として)無料配布冊子、ポスター、DVD 等</p> <p>在宅医療推進のための、以下の冊子を無料で配布。(印刷・発送費)</p> <p>・在宅医療テキスト(第 3 版)、・病院から「家に帰りたい」という人のために</p> <p>・訪問看護活用ガイド(改訂版)、・暮らしの健康手帳</p>	5,159,830
6	<p>(啓発事業として)インターネットの活用</p> <p>インターネット等を用いて、在宅医療等に関する情報等を円滑かつ効率的に提供するシステムの構築及び運用</p>	697,520

(つづき)

No.	事業内容	共通経費 配賦前事業費
7	<p>財団設立 20 周年記念事業</p> <p>目 的 : 2020 年に財団設立 20 周年を迎えるにあたり、在宅医療普及活動を目的とした 20 周年記念事業を計画の上、総額 2,100 万円(2017 年度:1,000 万円、2018 年度:500 万円、2019 年度:500 万円)の特定費用準備金を計上し、記念式典を 2020 年 7 月 4 日に開催する予定だったが、コロナウイルス感染状況により、2021 年 2 月 13 日に延期する。しかし、コロナ感染が収束しないため再度 2021 年 5 月 15 日に延期となる。また、コロナ感染を考慮し、WEB 開催と在宅医療推進のため新聞広告等を行うことを 2020 年度第 9 回定時理事会にて、積立期間 1 年延長と積立金額を 500 万円増額することが承認される。</p> <p>積立額 : 2017 年度 11,000,000 円 2018 年度 5,000,000 円(合計 16,000,000 円) 2019 年度 5,000,000 円(合計 21,000,000 円) 2020 年度 5,000,169 円(合計 26,000,169 円)</p> <p>取崩額 : 2018 年度 395,648 円 2019 年度 3,443,595 円 2020 年度 2,783,379 円</p>	2,783,379

「テキスト等、在宅医療等に関する情報収集及び普及啓発事業の実施」 44,808,105 円

＜公益目的事業4＞  
在宅医療等の推進のために行う調査研究  
( 30,203,376 円 : 4 件)

自主事業(4件)

(単位:円)

No.	事業内容	共通経費 配賦前事業費
1	<p>日本在宅ケアアライアンス(Japan Home Health Care Alliance)</p> <p>目 的 : 日本在宅ケアアライアンスは、勇美記念財団が行ってきた「在宅医療推進のための事業」をガバナンス体制を確立し、実質的な推進を担ってきた。2020 年度は、在宅医療の推進・社会実装における諸課題解決のために必要な 7 つの事業(プロジェクト)を遂行した。</p> <p><u>7事業 :</u></p> <p>(1) <u>災害時の在宅医療支援事業</u></p> <p>(2) <u>大都市における在宅医療のシステム構築事業</u></p> <p>(3) <u>在宅医療における介護職の専門性の検討事業</u></p> <p>(4) <u>在宅医療の質を評価するQOL 評価指数の開発事業</u></p> <p>(5) <u>日本独自の在宅医療の質(生きがい)概念の検討事業</u></p> <p>(6) <u>刊行物の活用などを通じた国民啓発事業</u></p> <p>(7) <u>基本文章の作成と普及事業</u></p> <p><u>上記事業(プロジェクト)は、下記のアライアンス各ワーキンググループが担当する。</u></p> <p>(1)、(2) : <u>システムグループ(制度・政策提言)</u></p> <p>(3)、(6) : <u>ムーブメントグループ(啓発・社会活動)</u></p> <p>(4)<u>アカデミックグループ(研究・教育)</u></p> <p>(5)<u>エシックスグループ(在宅医療に関する倫理的問題の検討)</u></p> <p>(7)<u>システムグループ・統括チーム(全グループ)</u></p>	27,624,865
2	<p>2020 年度在宅医療推進のための会 座長: 蘆野 吉和 (山形県庄内保健所 所長)</p> <p>目 的 : 先駆的に在宅医療を実践している医師たちが中心になり、大学、行政などと協力し、日本に真の在宅医療が広がるための討議と実践をする。 2020 年度からワークショップ形式を採用する。</p> <p><u>第1回 2020 年 10 月 9 日(金)19:00~21:00 (ZOOM 開催)</u> テーマ : 「病院が実施する在宅医療のありたい姿とは」</p> <p><u>第2回 2021 年 1 月 15 日(金)19:00~21:00 小児合同会議 (ZOOM 会議)</u> テーマ : 「在宅医療推進ための会・小児合同会議」 ※小児・成人在宅医療従事者合同開催</p> <p><u>第3回 2021 年 3 月 5 日(金)19:00~21:00 (ZOOM 会議)</u> テーマ : 「COVID-19 と在宅医療」</p>	1,127,428

No.	事業内容	共通経費 配賦前事業費
3	<p>小児在宅医療推進のための会(東京地区、大阪地区)</p> <p>目 的：小児在宅医療を推進していくために、小児医療、新生児医療、小児看護に関わる人々、また行政など様々なフィールドで活躍している人々が共に、我が国における小児在宅医療の今後の在り方や発展への道筋について、定期的に集まり議論し検討する会。</p> <p>《東京地区》座長：前田 浩利(医療法人財団はるたか会 理事長)</p> <p><u>第 51 回全体会議 2020 年 8 月 28 日(金)19:00～21:00</u></p> <p>テーマ：「小児在宅医療の今後、来年度の報酬について」</p> <p><u>第 52 回全体会議 2020 年 10 月 16 日(金)19:00～21:00</u></p> <p>テーマ：「各地域の取り組みについて」</p> <p>《大阪地区》</p> <p>座長：位田 忍(大阪母子医療センター 臨床検査課主任部長、臨床研修部長)</p> <p><u>第 26 回 小児大阪分科会 2020 年 9 月 11 日(金)19:00～21:00</u></p> <p>テーマ：「新型コロナウイルス感染症における医療的ケア児への対応」</p> <p>テーマ：「重症心身障がい児における新型コロナ感染症対策の課題」</p> <p><u>第 27 回 小児大阪分科会 2020 年 12 月 11 日(金)19:00～21:00</u></p> <p>テーマ：「医ケア児が“地域の子ども”として生活するために ～市立豊中病院小児科と豊中市役所としての取り組み</p> <p>テーマ：訪問管理栄養士により支える医ケア児(者)と家族の食生活</p> <p>《合同会議》</p> <p><u>2021 年 1 月 15 日(金)19:00～21:00 成人在宅・小児在宅合同会議</u></p> <p>テーマ：「在宅医療推進のための会・小児合同会議」</p> <p><u>2021 年 2 月 19 日(金)19:00～21:00 東西合同会議</u></p> <p>テーマ：「21 年度障がい福祉サービスの報酬改定について」</p> <p>テーマ：「今後の活動について」</p> <p>テーマ：「全国の重症心身障害施設の COVID-19 対応についての対策」</p>	1,411,813
4	<p>大都市における地域包括ケアをつくる政策研究会</p> <p>座長：新田 國夫 (医療法人つくし会 理事長)</p> <p>目 的：今後の医療・看護・介護の課題を分析し、大都市における総合的な地域包括ケアの政策を提言することを目的とする。</p> <p><u>2020 年 6 月度 大都市における政策研究報告書の印刷製本</u></p> <p>※新型コロナウイルスの影響に伴い、研究結果報告の最終回は次年度に延期する。</p>	39,270

「在宅医療等の推進のために行う調査研究」 30,203,376 円

以上のとおり、2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日までに総額 171,256,123 円の在宅医療助成金の交付を行った。

## II 処務の概要

### 1. 役員等に関する事項

2020年度末(2021年3月31日)現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	現職
理事	住野 耕三	2019年6月13日	理事長	株式会社オートバックスセブン取締役(常勤監査等委員)
理事	森田 清文	2019年6月13日	常務理事	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 常務理事
理事	大島 伸一	2019年6月13日		国立研究開発法人国立長寿医療研究センター-名誉総長
理事	鈴木 央	2019年6月13日		鈴木内科医院 院長
理事	辻 彼南雄	2019年6月13日		一般社団法人 ライフケアシステム 代表理事
理事	丸井 英二	2019年6月13日		人間総合科学大学 人間科学部 心身健康科学科 教授
理事	宮武 剛	2019年6月13日		学校法人 日本リハビリテーション学舎 理事長
理事	村松 静子	2019年6月13日		在宅看護研究センターLLP 代表
監事	坂倉 裕司	2019年6月13日		リレーション JAPAN 株式会社 代表取締役 昭和電線ホールディングス株式会社 社外取締役
監事	清水 峰生	2020年11月27日		清水公認会計士事務所 所長
評議員	経森 康弘	2020年11月28日		元 株式会社オートバックスセブン 副社長
評議員	杉河 修	2017年4月13日		オートバックス健康保険組合 常務理事
評議員	田中 滋	2017年4月13日		公立大学法人 埼玉県立大学 理事長 慶應義塾大学 名誉教授
評議員	土橋 正彦	2017年4月13日		土橋医院 院長
評議員	山崎 喜比古	2017年4月13日		日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授
選考委員	柳田 邦男	2018年3月14日	選考委員長	評論家・作家
選考委員	垣添 忠生	2018年3月14日		公益財団法人 日本対がん協会 会長
選考委員	行天 良雄	2018年3月14日		医事評論家
選考委員	辻 哲夫	2018年3月14日		東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員
選考委員	前沢 政次	2018年3月14日		夕張市立診療所 所長 北海道大学 名誉教授
評議員選定委員	経森 康弘	2020年11月28日		元 株式会社オートバックスセブン 副社長
評議員選定委員	坂倉 裕司	2019年6月17日		リレーション JAPAN 株式会社 代表取締役
評議員選定委員	坂本 裕二	2018年3月14日		株式会社バッファロー 代表取締役社長
評議員選定委員	野上 明	2018年3月14日		元 株式会社オートバックスセブン 副社長
評議員選定委員	中石 雅仁	2020年11月12日		グレンカル株式会社 代表取締役社長
専門部会委員	秋山 正子	2019年5月21日		白十字訪問看護ステーション 統括所長
専門部会委員	蘆野 吉和	2019年5月21日		山形県庄内保健所 所長
専門部会委員	飯島 勝矢	2019年5月21日		東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
専門部会委員	石垣 泰則	2019年5月21日		医療法人悠輝会 コーラルクリニック 理事長
専門部会委員	新田 國夫	2019年5月21日		医療法人社団 つくし会 新田クリニック 理事長
専門部会委員	辻 哲夫	2019年5月21日	部会長	東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員
専門部会委員	山路 憲夫	2019年5月21日	副部会長	小平学・まちづくり研究所 所長
研究成果物評価委員	石垣 泰則	2016年5月1日		医療法人悠輝会 コーラルクリニック 理事長
研究成果物評価委員	木村 琢磨	2016年5月1日		埼玉医科大学 総合診療内科 教授
研究成果物評価委員	葛谷 雅文	2016年5月1日		名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学講座 教授
研究成果物評価委員	森 清	2016年5月1日		社会医療法人財団大和会 在宅サポートセンター 東大和ホームケアクリニック センター長
研究成果物評価委員	山中 崇	2016年5月1日		東京大学大学院医学系研究科 在宅医療講座 特任准教授
研究成果物評価委員	若林 秀隆	2019年9月6日		東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授

## 2. 会議に関する事項

### (1)理事会

開催年月日	議事事項	結果
2020年5月25日 第1回 臨時理事会	定款第39条第2項の規定に基づく決議の省略の方法による理事会の開催 第1号議案： 理事会運営規則、評議員会運営規則改定に関する件 テレビ会議システム等を利用して開催できる条文の追加	決議省略
	第2号議案： 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等 現状の新型コロナ感染の状況より、「決議省略の方法」で開催する。	決議省略
2020年6月15日 第2回 臨時理事会	定款第39条第2項の規定に基づく決議の省略の方法による理事会の開催 第1号議案 (株)オートバックスセブン第73回定期株主総会における議決権 行使の承認に関する件	決議省略
2020年6月26日 第3回 臨時理事会	定款第39条第2項の規定に基づく決議の省略の方法による理事会の開催 第1号議案 定時評議員会開催の延期に関する件	決議省略
2020年8月4日 第4回 臨時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 第1号議案 アンダーソン・毛利・友常法律事務所に対する東葎監事提出 の監査意見書が指摘する理事の法令・定款違反の有無に関 する内部調査委託承認の件	全員賛成で承認
2020年8月20日 第5回 臨時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 第1号議案 アンダーソン・毛利・友常法律事務所に対する東葎監事提出 の監査意見書が指摘する理事の法令・定款違反の有無に関 する内部調査報告の件	全員賛成で承認
2020年9月7日 第6回 定時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 第1号議案： 2019年度事業報告並びに同付属明細書の承認に関する件	全員賛成で承認
	第2号議案： 2019年度計算書類及び同付属明細書並びに財産目録の承 認に関する件	全員賛成で承認
	第3号議案： 評議委員会の開催日時及び方法並びに目的である事項等 に関する件	全員賛成で承認
2020年11月12日 第7回 臨時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 第1号議案： 臨時評議委員会に提出する監事候補者の承認に関する件	全員賛成で承認
	第2号議案： 評議員選定委員会に提出する評議員候補者の承認に関す る件	全員賛成で承認
	第3号議案： 評議員選定委員(外部委員)の承認に関する件	全員賛成で承認
	第4号議案： 2020年度予算修正に関する件	全員賛成で承認
	第5号議案： 規定の改定に関する件	全員賛成で承認
	第6号議案： 臨時評議委員会の開催方法並びに目的である事項等に関 する件	全員賛成で承認
	報告事項： 正社員の雇用に関する件	了承
2021年1月25日 第8回 臨時理事会	定款第39条第2項の規定に基づく決議の省略の方法による理事会の開催 第1号議案： 特定費用準備金(財団設立20周年記念式典)に関する件	決議省略
	第2号議案： 評議員の選定に関する件	決議省略
2021年3月17日 第9回 定時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 第1号議案： 公益目的事業に関する件(新規事業開発を専門部に検討 することを指示する)	出席者賛成・承認 (村松理事席外)
	第2号議案： 2021年度事業計画案及び収支予算案に関する件	出席者全員賛成
	第3号議案： 特定費用準備金に関する件(20周年記念事業)	出席者全員賛成
	第4号議案： 重要な契約締結に関する件(日本在宅ケアアライアンスとの 業務委託契約)	出席者賛成・承認 (鈴木理事他予定のため 途中退席)
	報告事項1： 放送大学リーフレット郵送に関する件	了承
報告事項2： 正職員の雇用に関する件(江副正通・森田康介)	了承	

## (2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2020年6月12日 第1回臨時評議員会	定款39条第2項の規定に基づく、決議の省略の方法による評議員会の開催 第1号議案： 理事会運営規則、評議員会運営規則改定に関する件 テレビ会議システム等を利用して開催できる条文の追加	決議省略
2020年9月24日 第2回定時評議員会	評議員会運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 第1号議案 2019年度事業報告書並びに同付属明細書の承認に関する件 第2号議案 2019年度計算書類及び同付属明細並びに財産目録の承認に関する件	全員賛成で承認 全員賛成で承認
2020年11月27日 第3回臨時評議員会	定款39条第2項の規定に基づく、決議の省略の方法による評議員会の開催 提案事項1 監事の選任に関する件	決議省略

## (3) 監事

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2020年5月10日 決算監査	2019年度会計及び業務の監査 新型コロナ緊急事態宣言下であり、決算書類送付、及び、web、電話、ZOOM等にて内容の確認を行う方式で監査した。	東葭監事： 限定付適正意見 坂倉監事： 無限定適正意見

## (4) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2020年7月31日 第1回選考委員会	報告事項：2020年度在宅医療助成公募(前期)募集結果について 議題： 2020年度在宅医療助成(前期)助成決定に関する件 ・一般公募「在宅医療研究への助成(一般・論文枠)」 ・指定公募「市民の集い開催への助成」 ・指定公募「在宅医療推進のための多職種連携研修会」 ・指定公募「在宅医療推進のための学会等への共催」 ・指定公募「在宅医療推進に寄与するモデル的な研修・セミナーへの助成」 ・指定公募「課題解決型実証研究(論文枠)」	75件採用決定
2021年2月2日 第2回選考委員会	運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 報告事項 議題 2020年度在宅医療公募(後期)募集結果について 2020年度在宅医療助成(後期)助成対象決定に関する件 後期追加項目 指定公募「在宅医療における感染症対策に関する研究調査」 指定公募「在宅医療における感染症対策の教育及び啓蒙助成 審議事項 論文枠の拡大について	63件採用決定

## (5) 専門部会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2020年7月2日 第1回専門部会	運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 議案1: 2020年度第16回在宅医療推進フォーラムについて 議案2 新型コロナウイルス(COVID-19)に関する事業 議案3 冊子の増刷等について 小冊子「在宅医療の知識と実際」の刷新について	討議・上程
2020年10月8日 第2回専門部会	運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 議案1: 〔公募助成〕論文枠の位置付けについて 議案2 2020年度第16回在宅医療推進フォーラムについて 議案3 小児在宅医療推進のための会	討議・上程

つづく

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2021年3月1日 第3回専門部会	<p>運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催</p> <p>議案1: 1) 公募事業について</p> <p>① 論文化について</p> <p>② 指定公募事業テーマの追加について</p> <p>③ 感染症に関する調査研究、研修会等の継続</p> <p>議案2 2) 自主事業について</p> <p>① ブロックフォーラムについて⇒在宅医療推進フォーラムとの関連</p> <p>② 委託事業について</p> <p>③ 冊子(ポスター)等の刷新について</p>	討議・上程

(6)評議員選定委員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2020年11月30日 第1回評議員選定委員会	<p>評議員選定委員会規定第10条の規定に基づく、決議の省略</p> <p>第1号議案 評議員の選任に関する件</p> <p>第7回臨時理事会にて承認された評議員選定委員会に提出する評議員候補者(経森康弘氏)選任の件</p>	全員書面同意

(7)研究成果物評価委員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2021年1月25日 第1回研究成果物評価委員会	<p>運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催</p> <p>第1号議案 2018年度公募助成研究の中から優秀な研究を勇美賞とすることの審査と決定</p>	8研究 勇美賞